

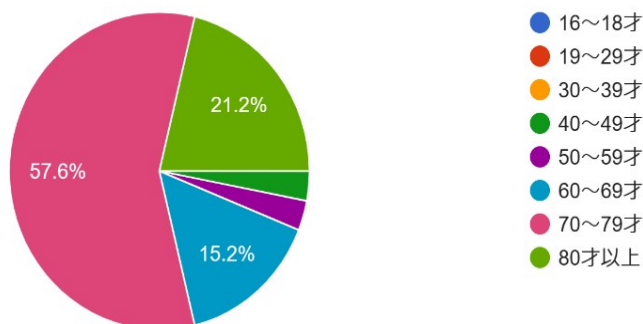
地域福祉活動計画策定についてのアンケート（ボランティア用） 回答から見た上市町の現状と今後の展望

第4次の活動計画の策定では、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた地区懇談会の実施がかなわずアンケート調査に切り替えさせていただきました。

アンケートは51部配布しインターネットとアンケート用紙による回答の2種類で行い33名から回答がありました。

問1 あなたの年齢を教えてください。

33件の回答

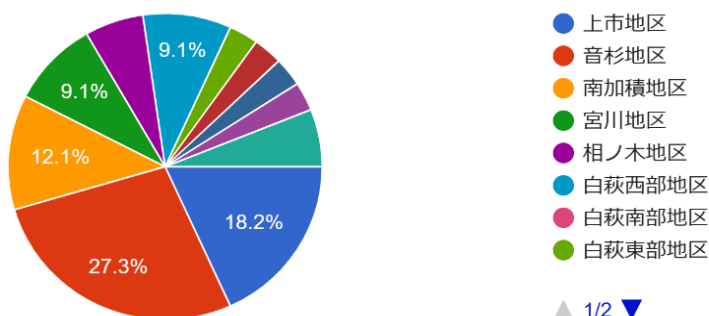


【考察】 回答者の94%が60歳以上であることから、ボランティア活動をしている人の中心は60代以上であることが推測できる。

今後は現役世代を巻き込む仕掛けづくりの必要性が窺える。

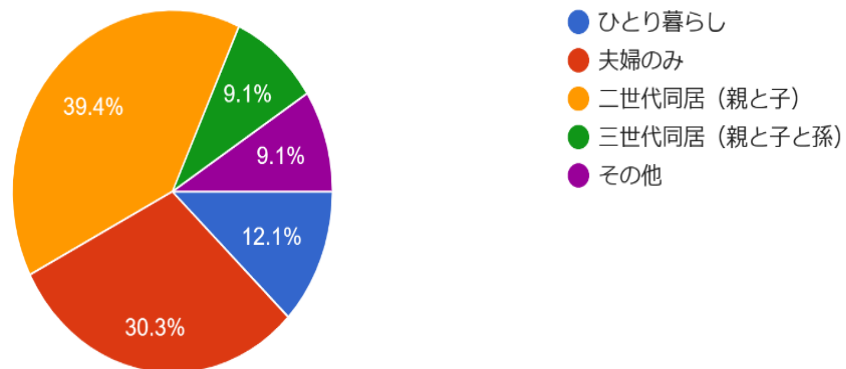
問2 お住まいの地区を教えてください。（1つ選択）

33件の回答



問3 家族構成を教えてください。（1つ選択）

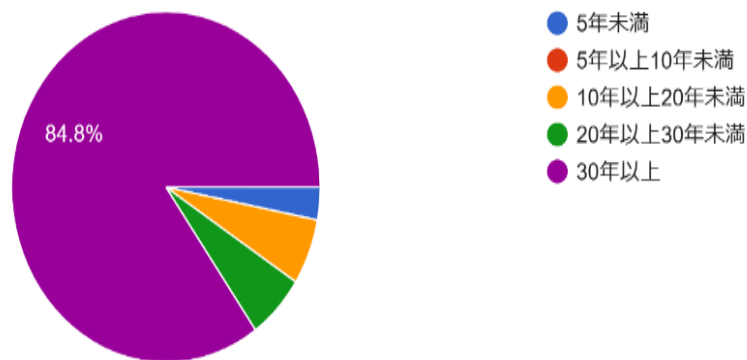
33件の回答



【考察】 二世帯家族が最も多く（39.4%）、次いで夫婦のみ（30.3%）世帯となっている

問4 あなたは上市町に住んで通算何年になりますか

33件の回答

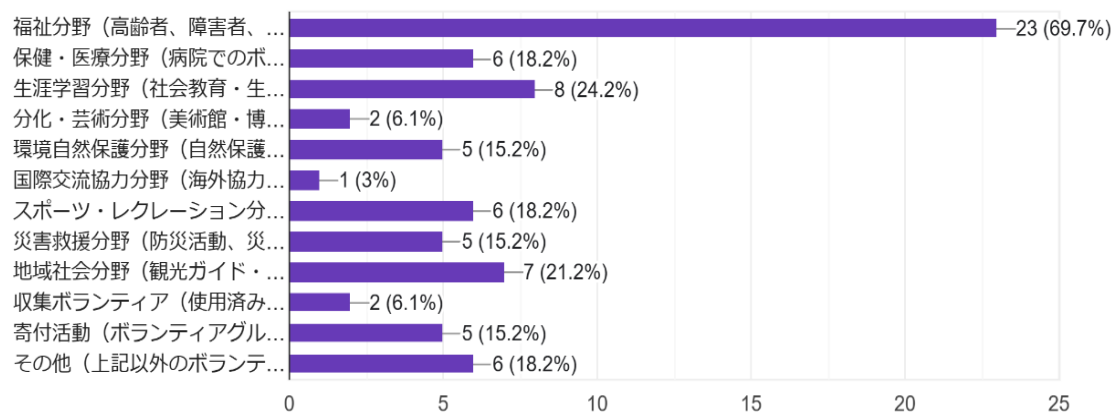


【考察】 30年以上住んでいる人が、8割を占めている。時代の変化による課題やニーズの変化などを感じている事が多くあるのではないかな。

一方で、新しい人の割合が少ないことや、問1での結果から、若年世代などからの新たな視点や考え方が入りにくいと推測される。

問5 あなたの活動内容を教えてください。（あてはまるものすべて選択）

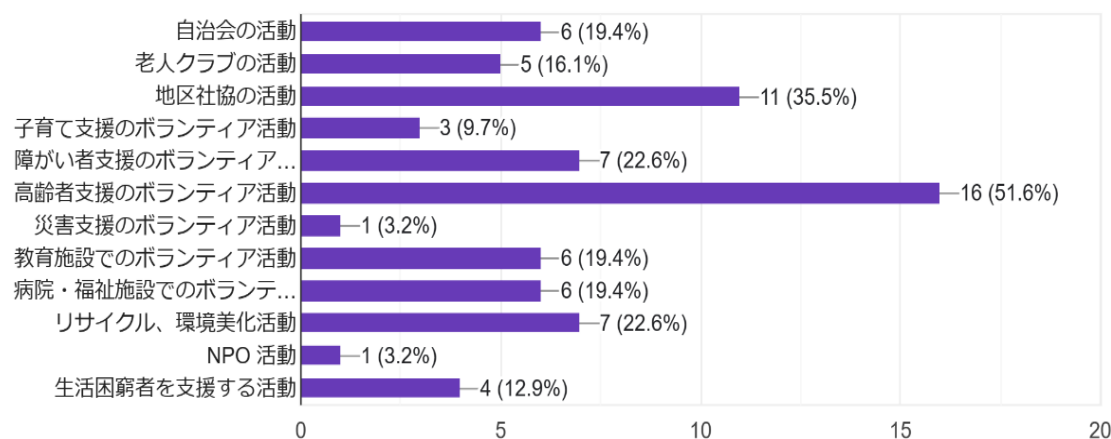
33 件の回答



【考察】 活動分野では福祉分野が最も多く、69.7%となっている。このことから、高齢者や障がい者などの福祉への関心の高さが窺える。

問6 あなたの興味のある地域活動やボランティア活動はどのようなことですか。（3つまで選択）

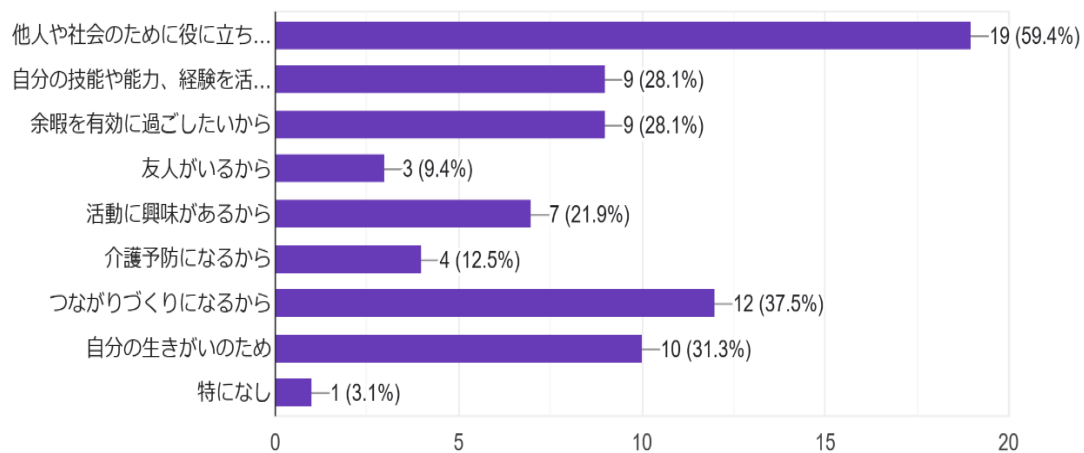
31 件の回答



【考察】 興味のある活動については、高齢者支援のボランティアが 51.6%と最も高く、地域の高齢化を「我が事」として、より身近に感じていることが窺える。それに対して子育て支援のボランティア活動は 9.7%と関心の差が表れている。少子化による子どもの減少により、子どもや、子育て世代との交流の希薄化などが影響を及ぼしていると推測される。

問7 あなたがボランティアを続ける上で重要と考えるものは何ですか。（3つまで選択）

32 件の回答

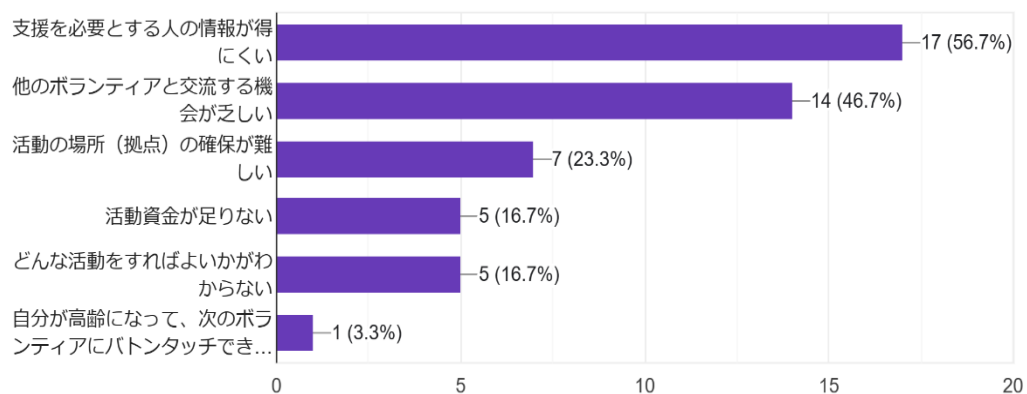


【考察】 他人や社会のために役に立ちたいが 59.4%と最も高く、ボランティアを通じて地域に貢献したいという意欲の高さや、つながりを求めていることが窺える。

問8 あなたが活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべて選択）

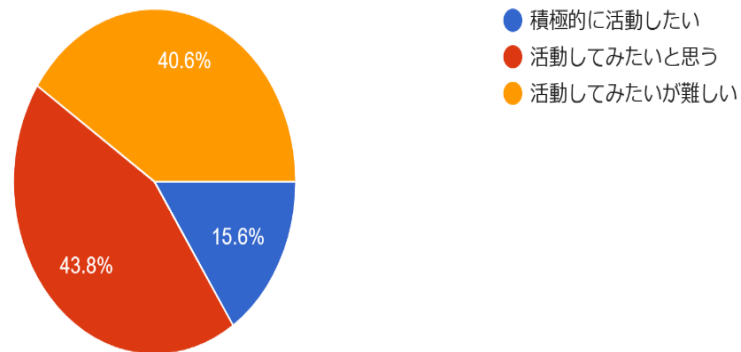
30 件の回答



【考察】 支援を必要とする人の情報が得にくいのが 56.7%一番多いことから、ボランティアに関する情報発信、共有の不足が窺える。また次いで 46.7%の他のボランティアと交流する機会が乏しいという事についてはコロナ禍において交流する機会がなくなってしまった影響が大きいと考えられる。

問9 あなたは社会福祉協議会から声かけがあったときに、今の活動以外の分野でも、活動したいですか。（1つ選択）

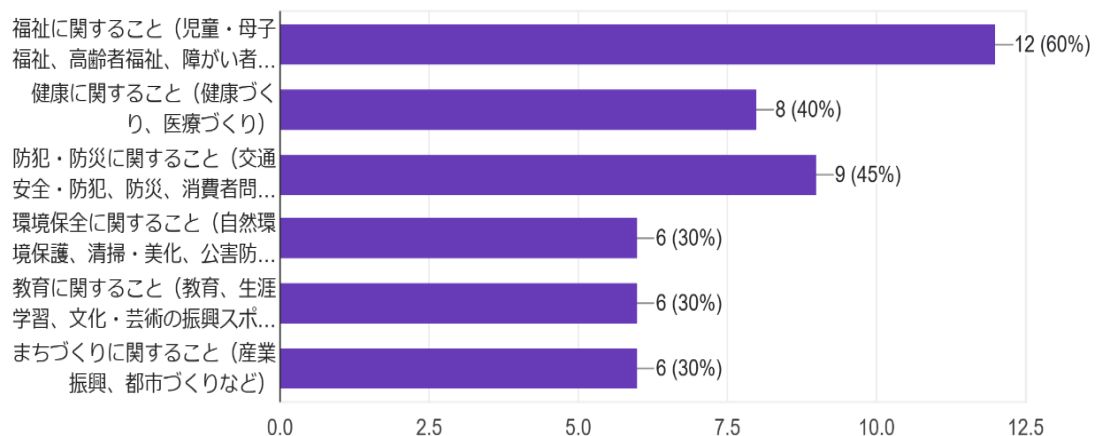
32 件の回答



【考察】 活動してみたいと思う、積極的に活動したいという人が多くを占めており、あらゆる分野への意欲が窺える。講習や場所の提供、方法の提案などにより、新たな展開が期待できる。

問10 問9で「1. 積極的に活動したい」、「2. 活動してみたいと思う」と答えた方のお答えください。どんな活動を始めてみたいと思いますか。（あてはまるものすべて選択）

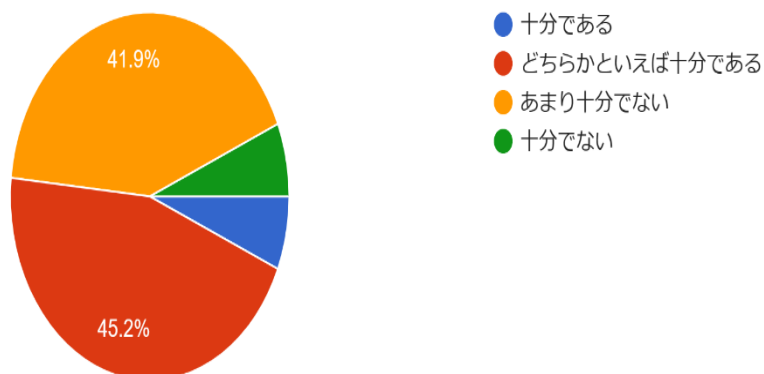
20 件の回答



【考察】 福祉に関することが最も高く、次いで身近な防犯・防災に関する活動となっている。

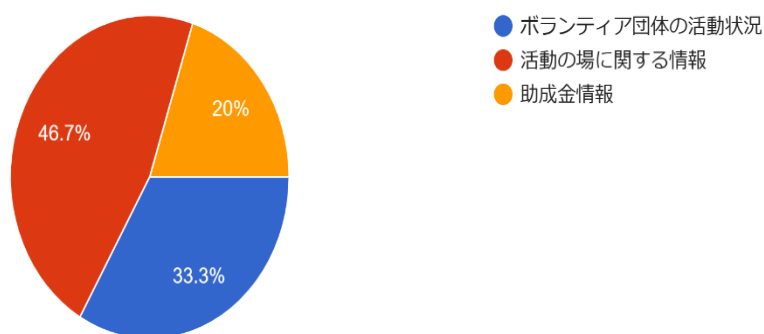
問11 ボランティアセンターからの情報提供は十分だと感じますか。（1つ選択）

31 件の回答



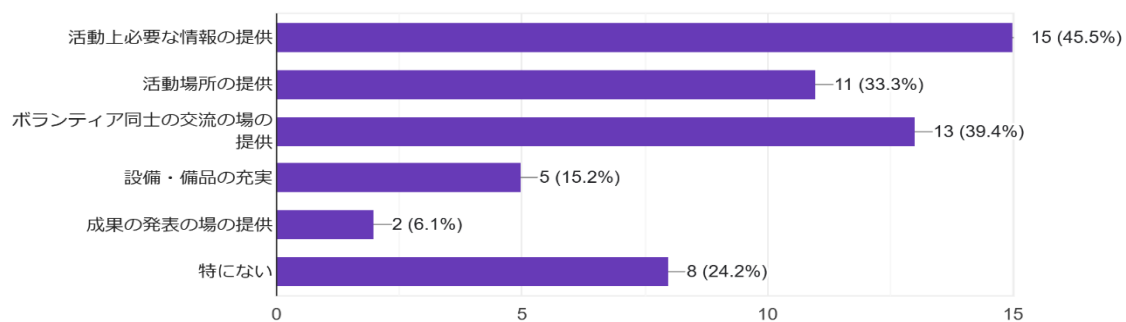
問12 「3. あまり十分でない」、「4. 十分でない」と回答した方のみ、どのような情報提供が必要ですか。（情報の内容等）

15 件の回答



問13 ボランティアセンターに求める支援は何ですか。（あてはまるものすべて選択）

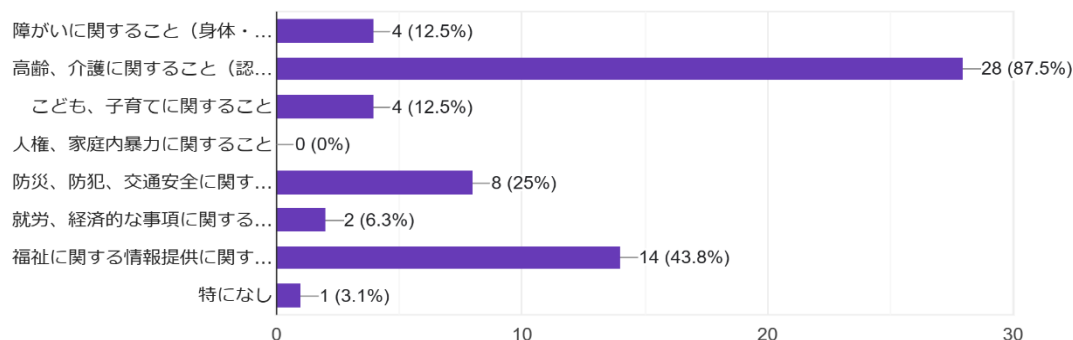
33 件の回答



【考察】 情報提供については、十分と十分ではないの回答が半々を示しており、情報が十分ではないと回答した方々は「活動の場に関する情報」を求めている。コロナ禍において活動意欲がありながら、活動の自粛があった影響と、情報の提供においては、ボランティアと求める側との情報共有などができる新たなシステムの構築が求められる。またボランティア同士の交流の場を整える事によりモチベーション向上につながると考えられる。

問14 地域や生活の困りごとについて、あなたが耳にすることはどのようなことですか。（あてはまるものすべて選択）

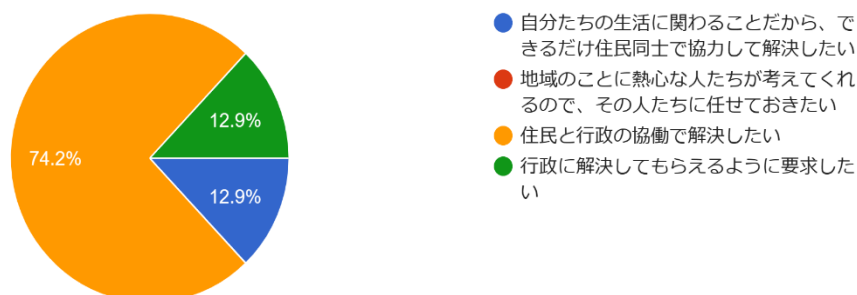
32 件の回答



【考察】 高齢・介護に関することがひととき高くなっている。高齢化の影響から、身近な困り事として耳にすることが多くなっていると推測される。地域それぞれにニーズも異なると考えられることから、地域のボランティアと連携し新たなボランティアの仕組み作りが必要と考えられる。

問15 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（1つ選択）

31 件の回答

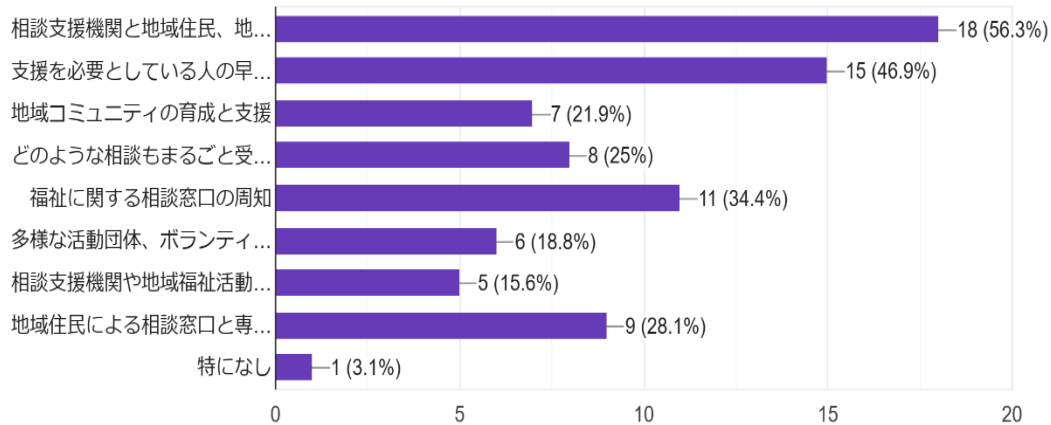


【考察】 住民と行政の協働で解決したいが最も高く、74.2%となっている。

問16 あなたは一つの相談支援機関だけでは解決

できない人や複数の課題を抱える人を支援につなげる...りが必要だと思いますか（3つまで選択）

32件の回答

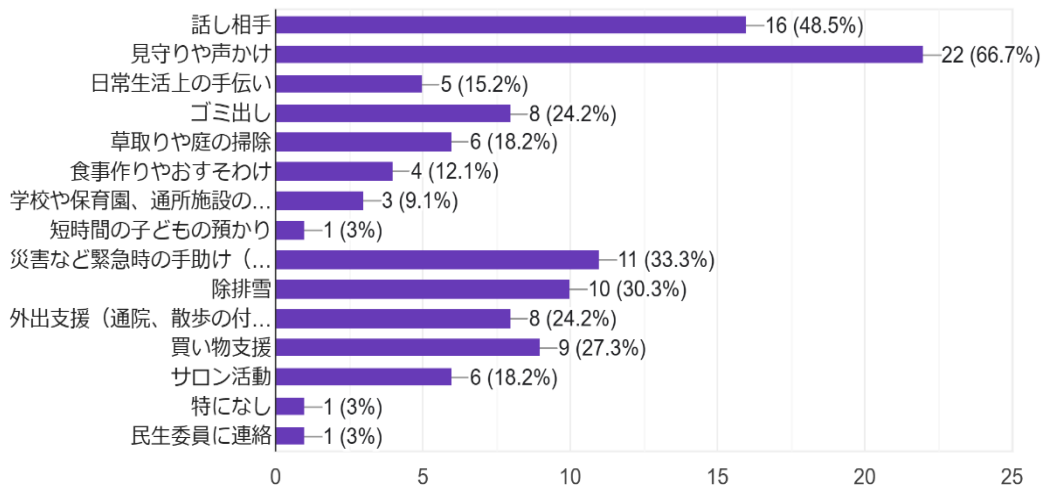


【考察】 困難問題の仕組み作りについては、相談支援機関、地域住民、地域関係者との連携が最も高く、時代の変化に対応した研修などを行い、新たなボランティアを発掘し、連携していく事が求められる。

問17 あなたの地区で日常生活を送るうえで心配な方や困っている方がいたら、

あなたにできることは何ですか。（あてはまるものすべて選択）

33件の回答

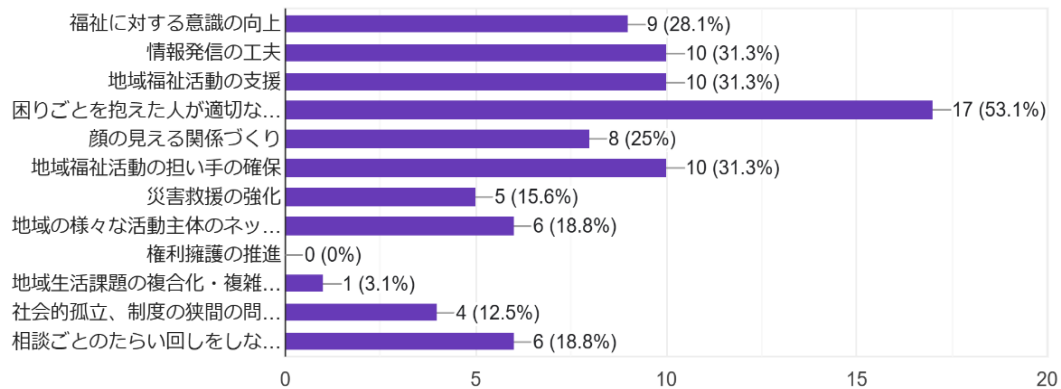


【考察】 見守り、声がけと話し相手が最も高く、安心して行えるように、変化を感じたときに、抱え込まずに相談できる環境の整備が求められる。

問18 誰もが住みやすいまちづくりを推進し

ていくにあたり、町社会福祉協議会ではどのようなこ...く べきだと思いますか。（3つまで選択）

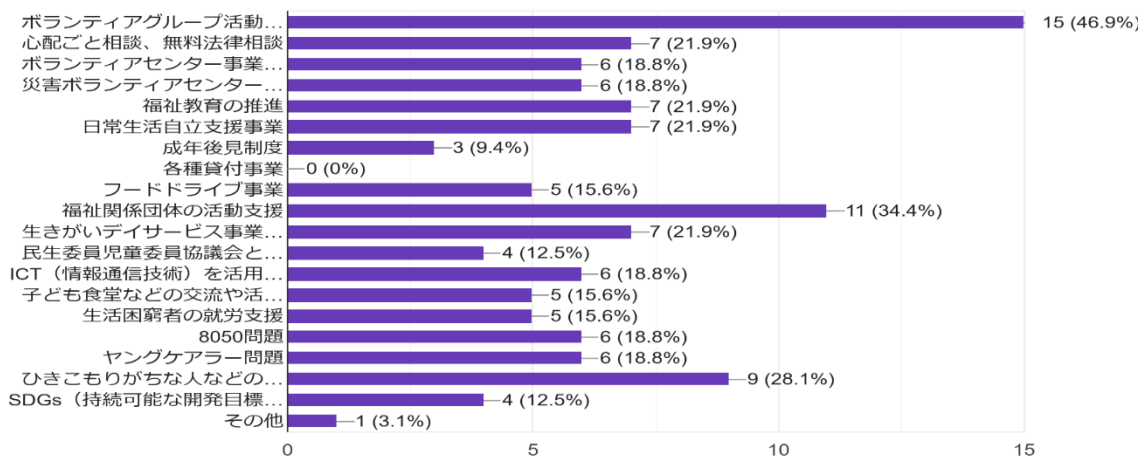
32 件の回答



【考察】 困りごとを抱えた人が適切につながる体制づくりが最も多く、53.1%となっています。地域と専門機関との連携や、SNSなどを活用した相談しやすい環境づくりなど、新たな仕組み作りが求められる。地域の福祉活動の担い手の確保においては、福祉教育を通じての地域育成が重要であると考えられる。

問19 町社会福祉協議会が行う活動・支援で充実してほしいことを教えてください。（5つまで選択）

32 件の回答



【考察】 最も多いボランティアグループの活動支援においては、コロナ禍において停滞していた活動の場を、新たな生活様式を踏まえ、受け入れ先とも連携をとりながら、提供していく必要がある。

問 20 地域福祉活動・ボランティア活動についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。 8 件の回答

・スポーツ団体の活躍出来る機会がもっと有れば良い。

・社会福祉活動について、民生委員や児童委員の研修だけでなく自治会等を巻き込んだ地域に根付いた福祉活動をするには今、社会福祉協議会がやろうとしていること、実際にやっていることなど、地域住民に知ってもらう必要がある。

・色々なボランティアグループがあることを周知徹底する必要がある。また子ども食堂が上市町にあることなど私はつい最近まで知りませんでした。そういった情報をいかに地域住民に知らせるか工夫が必要だと思います。福祉ナウやネットだけでなく地域の公民館を訪れ実際に地域の人の前で情報宣伝をすべきだと思います。

・認知症の人子育てに不安のある人こもりがちな人障害等がある人など支援を求める人はたくさんいると思います。その情報を得るにはこまめに各町内の集会に参加すべきだと思います。

・活動したい人、それを必要としている方の把握。一人で悩んでおられて、相談する場所や方法を見つけるのが困難な方の把握をしてもらいたい。

・十分に福祉活動やボランティア活動をしないうちに高齢になり、できなくなっていました。高齢者の見守りや、子供の下校時の見守り等、何となく楽しく、今でも「行ってらっしゃい」「おかえり」と声をかけるようにしています。

・福祉活動・ボランティア活動は、相手を尊重して取り組むことが大切と考えます。深入りすればするほど相手の気持ちを理解しなければならないと思います。ボランティアも高齢ばかり。だれが受ける身か？疑われそう。早急に若い方の入会を希望します。

・ボランティア活動は次の 4 点から構成されている。

- ① 自分から進んで行動する(自主性)
- ② 共に支え合う、学び合う(社会性)
- ③ 見返りを求めない(無償性)
- ④ よりよい社会をつくる(先駆性)

ボランティア活動を進めるにあたっては

- ① 興味や関心がある身近なことからはじめる
- ② 最初からたくさんの事をせず、余裕をもってできることから始める
- ③ 約束やルールは必ず守る
- ④ 相手や関係者の立場を尊重する
- ⑤ 家族や職場等の理解を得て取り組む
- ⑥ ボランティア活動への保険に加入する 等が大切と考えられます。

・活動する方々との意見交換、コミュニケーションをとりながらの今後の活動を深めていく事。